

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【鹿児島県】

学校名【鹿屋市立西原台小学校】

1 実践テーマ	I ・ II ・ Ⅲ ・ IV ・ Ⅴ（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	6年 93人 計 93人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間, 体育） ② 行事名（ ） ③ その他（朝の会や給食時間） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	○ パラリンピック選手の講話を聞き、自分の将来の夢や生き方について考える。（総合的な学習の時間） ○ オリンピック・パラリンピックへの理解を深め、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める。（体育）
5 取組内容	○ 総合的な学習の時間 ・ パラリンピアン講演会 （講師：二條 実穂 氏） ・ 体育館で実施可能なパラリンピック競技の調べ学習, 体験  

	<p>○ 体育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シットイングバレーボール体験 ・ ゴールボール体験 ・ NHK for school の活用 (車いすバスケットボール, パラ陸上, ゴールボール, パラ水泳) 
<p>6 主な成果</p>	<p>○ 二條実穂氏の講話を受け、車いす操作や車いすテニスの難しさを体験することで、パラリンピック種目についての興味・関心を高めることができた。</p> <p>○ 講話から、今までの自分たちと二條実穂氏の考え方を比べることで、これからの自分に生かしていこうとする思いを高めることができた。</p> <p>○ タブレットを活用することで、パラリンピックの競技の種類や内容に対する知識・理解を深めることができた。</p> <p>○ 子どもたちがオリンピック・パラリンピックについて話題にすることや日記に書くことがあり、応援していこうという態度の育成に繋がった。</p> <p><u>【子どもたちの振り返り】</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>シットイングバレーボールをしてみても、移動はできるけど素早くできなかったり、ボールが速いから座った状態だとコントロールがうまくできなかったりして難しかった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>下半身が動かせないだけでこんなにも難しいんだなと思った。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>振り返り 楽しかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボールを止めた時 ・ ポイントが入った時 <p>嫌だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボールがどこにあるかわからないこと ・ ボールに触っても目を開けると止めていなかったこと <p>思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「視力は大切」と思った。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>鈴の音は聞こえるけど聞こえている場所が分からないから、キャッチできなかった。ボールのスピードが速くて捕れなかった。私のメンバーがうますぎて速く投げてきた。</p> </div>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○ 子どもたちがオリンピック・パラリンピックを身近なものとして考えられるように「自分たちで実施できるパラリンピック競技にどのようなものがあるか。」をテーマに調べ学習を行い、競技を体験した。</p> <p>○ 将来の夢や生き方について考える総合的な学習の時間と関連させて行った。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○ 低・中学年でもオリンピック・パラリンピック競技体験が行えるような教育課程の編成が必要である。</p> <p>○ 児童の興味・関心を高めるための環境整備を工夫する。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○ 低・中学年でもオリンピック・パラリンピック競技体験が行える機会を設定する。</p>